

がんばろう日本！がんばろう東北！ 東日本大震災への支援活動

羽幌町からの支援の状況

◆ 救援物資

- ・毛布 1000枚（町の備蓄品）
- ・簡易トイレ 1基（道からのレンタル品）

自衛隊留萌駐屯地を通じ被災地へ提供

（3月22日留萌駐屯地へ搬入）

◆ 人的支援

- ・緊急消防援助隊（北海道隊）として宮城県石巻市に北留萌消防組合の職員を派遣（3月28日～4月4日と4月21日～27日の2回、各5名を派遣）
- ・役場職員の被災地への派遣を準備（2名1組で4組8名を各1週間ずつ被災地市町村へ派遣予定で、北海道町村会や被災地と連絡調整しています）

◆ 義援金

- ・羽幌町が加入する北海道町村会の取り組みとして、岩手県、宮城県、福島県の3県にそれぞれ5千万円（総額1億5千万円）を義援金として支援（3月29日決定）
- ・募金箱を役場、中央公民館と天売、焼尻両支所に設置、集まった募金、義援金は、日赤羽幌町区分区を通じ、被災地に送金します。（募金箱設置は9月30日までの予定）

◆ 被災者の受け入れ

- ・公営住宅3戸と教職員住宅3戸、老人福祉センター2階と老人憩いの家2階について受け入れ可能としています。



◀消防の第2次隊（萬谷和博指令を隊長に、杉沢伸二士長、岩崎泰樹消防士と苫前支署、幌延支署から各1名の計5名）は、消防ポンプ車で現地へ向かい救援活動。写真は4月27日帰町報告の様子。

支援のお問い合わせ
総務課総務係
☎62-1211（内線211）

募金活動・義援金で広がる支援の輪

震災直後に真っ先に街頭で募金活動をした羽幌高校の生徒たちを広報4月号で紹介しましたが、その後も町内でさまざまな募金活動などが行われています。



▲4月11日～15日、羽幌中学校では生徒会執行部が毎朝校内で募金活動を実施。集まった28,574円を生徒会長の山田晋吾くんが日赤羽幌町区分区長の舟橋町長に手渡しました。



▲羽幌小学校では、被災地の子ども達に文房具を贈るうと、5月9日から31日まで児童会の子ども達が毎朝児童玄関で未使用の文房具を集める取り組みを実施しました。



▲日赤奉仕団は、3月から9月まで毎月1回町内5ヶ所で街頭募金を計画。長期的に活動を実施。団員からの募金と合わせ、3回目の5月29日で寄せられた総額は、560,517円になっています。

ボランティアによる現地応援も！



炊き出しで応援！

◀5月3日～5日、漁業関係者の有志6名（佐藤満さん、ゆかりさん、平向満さん、石川嘉大さん、木村日登美さん、逢坂幸子さん）が、岩手県大船渡市の避難所で甘エビや魚たっぶりの大浜なべの炊き出しを実施。浜のエールを贈りました。帰町後は、役場と中央スーパーで現地の様子を手作りの展示で紹介、被災地応援を訴えました。



ガレキ撤去に汗！

◀江端昭さん（前商工会事務局長・66歳）は、岩手県社会福祉協議会のボランティアセンターに個人ボランティアとして登録。5月12日に車で羽幌を出発。岩手県大槌町、陸前高田市、野田村で、3日間ガレキの撤去や泥のかき出し作業に参加。長年消防に勤務し消防長も勤めた経験から熱い想いで現地の支援にあたられました。

心あたたまる善意

ありがとうございます

税関係のお知らせ

ふるさと寄付金が被災地支援に

被災地への寄付金や義援金「ふるさと寄付金」として住民税、所得税の控除を受けることができます。

日本赤十字社や中央共同募金会等への義援金も同様です。

詳しくは、総務省の東日本大震災関連情報HPをご覧ください。

総務省ホームページ <http://soumu.go.jp>

税のお問い合わせ

財務課税務係 ☎62-1211（内線255）